

ベンズブロマロン錠 25mg 「日医工」
 ベンズブロマロン錠 50mg 「日医工」

【この薬は？】

販売名	ベンズブロマロン錠 25mg 「日医工」 Benzbromarone Tab.25mg	ベンズブロマロン錠 50mg 「日医工」 Benzbromarone Tab.50mg
一般名	ベンズブロマロン Benzbromarone	
含有量 (1錠中)	25mg	50mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、高尿酸血症・痛風治療剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、腎臓で尿酸が血液中に再び吸収されることを抑え、尿酸を尿中に排泄させて高尿酸血症・痛風を治療します。
- ・次の目的で処方されます。

下記の場合における高尿酸血症の改善
 痛風、高尿酸血症を伴う高血圧症

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- この薬を使用している間に、劇症肝炎等の重篤な肝障害があらわれる場合があります、

死亡に至る例も報告されています。

重篤な肝障害は、主に飲み始めて6ヶ月以内にあらわれますので、少なくとも使用開始6ヶ月間は定期的に肝機能検査が行われます。

○副作用として肝臓の働きが低下することがあります。患者さんは、十分に理解できるまで説明を受けてください。食欲がなくなる、吐き気、嘔吐、体がだるくなる（けんたい感）、腹痛、下痢、発熱、尿の色が濃く（褐色）なる、皮膚や白目が黄色くなる（黄疸）、体がかゆくなる、発疹がでるなどの症状があらわれた場合には、ただちに使用を中止し、すぐに受診してください。

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・肝臓に障害のある人
- ・腎臓に結石のある人、腎臓に高度な障害がある人
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人
- ・過去にベンズブロマロン錠「日医工」に含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

販売名	ベンズブロマロン錠 25mg 「日医工」		ベンズブロマロン錠 50mg 「日医工」	
疾患名	痛風	高尿酸血症を伴う高血圧症	痛風	高尿酸血症を伴う高血圧症
1回量	1錠または2錠 (維持量：1回2錠)	2錠	1/2錠または1錠 (維持量：1回1錠)	1錠
飲む回数	1日1回（維持量： 1日1～3回）	1日1～3回	1日1回（維持量： 1日1～3回）	1日1～3回

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く飲んだ時（過量投与時）の対応

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・飲み始めの6ヶ月間は、定期的に肝機能検査が行われます。また、6ヶ月以降も定期的に肝機能検査が行われることがあります。受診日を守ってください。
- ・この薬は、急性痛風発作がおさまってから使い始めます。
- ・この薬の飲み始めに痛風発作が起こることがあります。

- ・水分を十分に摂ってください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳を避けてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。





このような場合には、すぐに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
重篤な肝障害 じゅうとくなかんしょうがい	発熱、判断力の低下、かゆみ、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃く（褐色）なる、吐き気、発疹、嘔吐、意識の低下、羽ばたくような手のふるえ、からだがだるい、白目が黄色くなる、食欲不振、考えがまとまらない

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用の表や【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	発熱、からだがだるい
頭部	意識の低下、考えがまとまらない
胸部	吐き気
眼	白目が黄色くなる
口や喉	吐き気、嘔吐
腹部	吐き気、食欲不振
手・足	羽ばたくような手のふるえ
皮膚	かゆみ、皮膚が黄色くなる、発疹
尿	尿の色が濃く（褐色）なる
その他	判断力の低下

【この薬の形は？】

販売名	ベンズブロマロン錠 25mg 「日医工」	ベンズブロマロン錠 50mg 「日医工」
形状	円形の錠剤（割線入り） 	円形の錠剤（割線入り） 
直径	6.5mm	約 8.0mm
厚さ	2.15mm	約 2.1mm
色	白色～微黄色	白色～淡黄色
識別コード (PTP)		

【この薬に含まれているのは？】

販売名	ベンズブロマロン錠 25mg 「日医工」	ベンズブロマロン錠 50mg 「日医工」
有効成分	ベンズブロマロン	
添加物	乳糖、トウモロコシデンプン、ヒドロキシプロピルセルロース、ステアリン酸マグネシウム	D-マンニトール、セルロース、ヒドロキシプロピルセルロース、クロスカルメロースナトリウム、タルク、ステアリン酸カルシウム

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

日医工株式会社 (<http://www.nichiiko.co.jp>)

くすりの相談窓口の電話番号 TEL(フリーダイヤル)：(0120)517-215

受付時間：9時～17時（土、日、祝日その他当社の休業日を除く）